

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	富士あけぼの園 吉原中央・進			
○保護者評価実施期間	2025年10月15日 ~			2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ~			2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様からの相談や悩み事に対して、チームで家族支援にあたることができている点。	相談内容は千差万別であり、利用者様や保護者様、環境や背景を加味した上で、迅速に、そして柔軟に対応するよう心掛けている。内容に応じて、関係機関にも連携を依頼し、より大きなチームの輪で支援を行なっている。	今後も支援の件数を重ねていくことで、関係機関との連携強化を図り、よりきめ細かく、一人一人に応じた丁寧な支援を実施してゆく。
2	BCP計画や安全計画に基づいた訓練や研修を徹底していく、日頃から有事の際の体制づくりをしている点。	災害が発生した際に、ポイントとなる項目に優先順位を付けて、訓練に織り込むようにしている。季節に応じて発生しやすい災害(風水害や感染症)などにも関する避難訓練や予防訓練も実施している。	利用者様が家庭や学校などでも有事に力を発揮できるようになるよう、訓練を重ねてゆく。
3	所属する職員が全員有資格者であり、そのノウハウを支援に反映させることができていること。	支援において、視点が固定化してしまうことは様々なリスクを生みかねない。様々な資格や経験を持った職員が、これまでに培ってきたものを活用することで、より専門性・個別性の高い支援が出来る。	研修等を通し、職員一人一人が自身のスキル向上に努める。またPDCAサイクルによるチェックも徹底し、より質の高い支援を実施してゆく。

	事業所の弱み（※）だと思われる ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもとの交流の在り方について。	直近では、納涼祭やハロウィンパーティーなどを通して他施設の利用者様と交流の機会を頂いた。交流が無いわけではないが、より良い交流の機会が設けられると思ったため。	早い段階で計画を立てて、準備を進めてゆく。また交流する者同士にとって、より楽しく、実りのある時間になるよう活動内容も再考してゆく。
2	活動プログラム立案までの過程の周知について。	一部の保護者様より「事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。」という設問に対して「わからない」との回答を頂いた。これまでどのような過程で活動プログラムをしているのか周知が足りなかった為。	保護者会などの機会を通して、プログラムの組み方についても周知する場を設ける。
3			